



医師を含めた定期ミーティングの様子

たいけど、拒否したり、行きたがらないということですね。今までは、その人がどういう状況かという詳細を見て、何が必要かの判断が難しかった面が、こちらから出向いて行き、専門職がしつかり見極めることができるようになりました。

相談は、認知症が進んでしまつてからより、できるだけ早い方がご本人にとってもいいのではないのでしょうか。不安が大きいので、体の変化に気付きながらも、それを認めたくない。家族も今までの様子と変わってきていることに気が付き不安になってしまっています。

介護保険などのサポートを受けることで、自宅で生活できる人もたくさんいます。認知症の主な症状である物忘れは、痛みや熱などと違って、受け止めが難しいので、対応の仕方には難しい部分があります。

家族の人たちも支えていきたいです。認知症をチェックできるポイントなどありますか？ 「物忘れ」「物をとられた」「何度も同じことを言う」などの言動があります。他には、「探し物が増えた」「今まで使えた機械が、使いにくくなった」「日時などが分からなくなった」などがあ



特集

# 今から取り組む認知症



広島県認知症疾患医療センター 松本 啓さん

認知症は高齢になればなるほど、発症率は高まります。特別な人に起こる特別な出来事ではなく、年を取れば誰にでも起こりうる、身近な病気となりました。

## 昨年できた 認知症初期集中支援チーム 支援の内容を松本啓さんに伺いました

認知症が疑われたり、認知症の症状で困っているなどの相談を受け、専門職がチームを組んで、直接お宅を訪問し、話を伺います。そして、悩みを解決するには、何が必要かを一緒に考えていく支援を行っています。

支援の内容を教えてください。まず話を伺い、本人や家族の状況の確認や心配なことなどの相談に応じます。その上で病院への受診が必要なら、受診するように勧め、介護サービスが必要なら、利用できるように手続きを始めます。一番多い問題は、受診をさせ

初期集中なので、支援は6か月間と決まっていますが、介護、医療など必要な支援へ引き継ぎます。Q どのように認知症をケアすればいいですか？

相談窓口  
認知症は早期診断・早期対応が大切です。「認知症かな」「認知症と思うけどどうしたらいい？」と思ったら、相談してみましょう。

北部圏域（上下町）で2月から認知症初期集中支援チームによるサポートが始まります